



2021年11月5日

各位

会社名 西川ゴム工業株式会社

代表者名 代表取締役社長 福岡 美朝

(コード番号 5161 東証二部)

問合せ先 取締役管理本部長 休石 佳司

(TEL: 082-237-9371)

2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績予想値と、本日公表の実績値について差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結

2022年3月期第2四半期(累計)業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,800	2,600	2,800	2,000	102.10
今回実績値 (B)	40,954	1,940	2,436	1,155	58.98
増減額 (B-A)	△1,845	△659	△363	△844	
増減率 (%)	△4.3	△25.4	△13.0	△42.2	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	32,765	△782	△509	△864	△44.15

2022年3月期通期業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	90,200	6,700	7,400	5,100	260.36
今回修正予想 (B)	—	—	—	—	—
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	80,234	4,735	6,021	2,697	137.76

2. 個別

2022年3月期第2四半期（累計）業績予想値と実績値との差異（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,400	1,000	1,600	1,200	61.26
今回実績値 (B)	18,830	23	1,212	751	38.37
増減額 (B-A)	△3,569	△976	△387	△448	
増減率 (%)	△15.9	△97.6	△24.2	△37.4	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	17,053	△863	1,356	1,205	61.56

2022年3月期通期業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	46,400	2,300	5,700	4,500	229.73
今回修正予想 (B)	—	—	—	—	—
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	40,937	945	5,656	3,570	182.28

3. 差異および修正の理由

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、半導体の需給が逼迫したことなどにより、各自動車メーカーの生産調整の影響を受け、売上高、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る結果となりました。

また、広島県三原市の本郷産業団地用地取得計画を中止いたしました。これに伴うインフラに関連する工事業者への補償金に関連する費用を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても前回発表予想を下回る結果となりました。

当第2四半期累計期間の個別業績につきましても、同様の理由にて売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前回予想を下回る結果となりました。

通期の業績予想につきましては、引き続き半導体やその他自動車部品の世界的な需給逼迫、原材料供給懸念や価格高騰、更には電力などのエネルギーや国際輸送コストの高騰など事業活動に及ぼす影響が不透明であり、現時点においては、2021年5月14日に公表いたしました業績予想を未定といたします。尚、今後の業績動向を踏まえ、当第3四半期決算において公表する予定といたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の収束時期の変動といった潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績等は、これらの様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上